

## EUSI メールマガジン Vol. 015

### 「EUの再生力『知の共同』-アジアへの示唆」(羽場久美子)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

#### 【EUSI Commentary Vol. 010】

##### 「EUの再生力『知の共同』-アジアへの示唆」

羽場久美子(青山学院大学教授、EUSI 設置講座(一橋大学大学院)「EU論」担当)

世界が、何よりアジアが、EUから最も学べることは、1)和解、2)拡大、3)「知の共同」の三つであろう。さらにもう一つ付け加えるなら、4番目は危機からの飛翔。常に荒廃と危機の中から、ヨーロッパは再生する。現在の金融危機も、EUは必ずそれを打開するだろう。EUは、ネガティブをポジティブに変えていく力がある。それは戦略の中に哲学、規範的な思想があるからだ。EUを研究する醍醐味もそこにある。

それゆえ、今回、原稿をお引き受けて、その3点、特に「知の共同」、そして世界・アジアへの示唆について、考えてみたい。

第1点目の、紛争・対立からの「和解」は、今回EUがノーベル平和賞を受賞した最大の理由、世界・アジアへのメッセージでもある。ロバート・ケーガンも述べたように、「第2次世界大戦までは、ヨーロッパがマルス、アメリカがヴィーナス」であった。

第2次世界大戦を思い起こすだけでも、2000万人の人々が亡くなった。累々たる屍と戦争の荒廃、人々の挫折と絶望の中でヨーロッパは、エネルギーの共存によってよみがえった。おなじみの叙述かもしれないが、未だ止まない中東紛争や、何より尖閣・竹島をめぐる日中韓の対立を考えると、なぜヨーロッパに学べないか、と痛切に思う。

ヨーロッパは、CMで流される『ユーロ、ユーロ』とダンスする平和的共同体イメージを、1世代、戦後60年で作り上げた。すごいことだ。その根幹はやはり、1)エネルギーの共存、2)国境線の凍結、3)和解と若者を中心とする草の根交流、の3つであろう。この60年、アジアでは、ずっと『歴史問題』を引きずってきた。エネルギーの共存と、国境線の凍結の二つを実現するだけで、世界の紛争の殆どは、とりえず「構造的」には消え去ってしまう。尖閣・竹島でさえそうである。残った心理的なしこりを解決したのが、お互いに殺された親戚や憎しみを抱え込んだ中での「独仏100万人交流計画」であった。

かつての敵の中に、第2の父母を見出し、敵の言語を互いに話す。彼らが育って新しい共同の世界を作る。究極の戦場からのパラダイスづくりを、独仏はやったのけた。冷戦の分断によって若者の大量交流計画を行えなかったドイツ・ポーランド間は、紛争はなくなったが、心のしこりは今でも残っている。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol10.pdf>

### 【EUSI イベントご案内】

#### 1. EUSI 公開講座「民主化とEU加盟は中・東欧の社会をどう変えたか」

日時: 2012年11月24日(土) 13:00-17:00

会場: 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス 津田ホール 1F T101, T102

参加費: 無料 (申込み要)

申込・問合せ先: EUSI 津田分室 ([eusi@tsuda.ac.jp](mailto:eusi@tsuda.ac.jp) / TEL 042-342-5134)

講演:

「ポーランド市民にとってEUとは何か?」

小森田秋夫 (神奈川大学法学部教授)

「ルーマニアの汚職対策に見る『EU化』の光と影」

藤嶋亮 (首都大学東京・文教大学非常勤講師)

「EU加盟とラトヴィア・ナショナリズム--愛憎入り混じる社会意識」

中井遼 (早稲田大学政治経済学術院助手)

ディスカッサント: 吉岡潤 (津田塾大学学芸学部准教授)

司会: 網谷龍介 (津田塾大学学芸学部教授)

[http://eusi.jp/content\\_jp/outreach/seminar/20121124\\_publiclecture.html](http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20121124_publiclecture.html)

#### 2. 講演会「Getting the Euro zone out of the Crisis」(EUIJ 早稲田共催)

EUSIとEUIJ 早稲田は、11月27日(火)に、ギュンター・グロッシュェ元ユーログループ議長特別顧問講演を開催いたします。

ギュンター・グロッシュェ元ユーログループ議長特別顧問講演

"Getting the Euro zone out of the Crisis"

日時: 2012年11月27日(火) 16:30-18:00

場所: 早稲田大学 26号館 3階 302教室

参加費・登録: 無料・事前申込み不要 (当日会場に直接お越しください)

言語: 英語 (通訳なし)

主催: EUIJ 早稲田 共催: EUSI

[http://eusi.jp/content\\_jp/collaboration/program/20121127\\_waseda.html](http://eusi.jp/content_jp/collaboration/program/20121127_waseda.html)

#### 3. EUSI 国際シンポジウム「世界におけるEUと日本」

日時: 2012年12月10日(月) 15:00-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6階 G-SEC 会議室

パネル・ディスカッション: 「世界におけるEUと日本」

パネリスト:

トマス・バーガー (ボストン大学教授・慶應義塾大学客員研究員)

アクセル・ベルコフスキー (イタリア・パヴィア大学教授)

遠藤乾 (北海道大学大学院法学研究科教授)

中村亮 (外務省総合外交政策局政策企画室長)

鶴岡路人 (防衛省防衛研究所主任研究官)

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授)

### 【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (EUSI 執行委員・一橋大学大学院法学研究科教授)

「国際法に照らした EU 航空排出枠取引制度指令の有効性」

『国際商事法務』Vol.40, No.10 (2012年10月) 1604-1610 頁

林秀毅 (EUSI 主任研究員・日本経済研究センター特任研究員)

「『銀行同盟』実現に向けた3つのステップ--欧州出張報告」

『欧州債務危機レポート』(日本経済研究センター)2012年11月13日

<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi/index121113.html>

### 【EUに関するニュース】

- 2012年11月1日 EU域内で自動車の新安全要件が発効。2009年に採択された総合安全基準の下での義務化
- 2012年11月1日 中国商務部、EU域内産ソーラーパネル原料の反ダンピング・反補助金調査開始。EU措置へ対抗
- 2012年11月3日 バロゾ欧州委員長、ミャンマー政府と、同国の永続的な民族的平和に関する共同宣言に署名
- 2012年11月3日 アシュトン EU上級代表ら、10月28日のウクライナ最高議会選挙の開票集計作業を注視との声明
- 2012年11月3日 アシュトン EU上級代表、ゼイダン・リビア新政権の発足に祝意を表明
- 2012年11月3-26日 第19回大阪ヨーロッパ映画祭。欧州長編映画11本や外国人監督によるロンドン映画6本など
- 2012年11月5-6日 第9回ASEM首脳会議、ラオスで開催。財政・地球規模課題・社会文化協力・地域情勢など協議
- 2012年11月5日 日・EU首脳会談、ASEM期間中に開催。欧州債務危機、日・EU EPA、ミャンマー問題など協議
- 2012年11月5日 欧州委員会、情報ネットワーク高速化のため無線周波数帯域の追加を決定。最大で米国の2倍に
- 2012年11月5日 欧州委員会、優れた科学者を顕彰する第1回マリー・キュリー賞の発表・授賞式開催。3名が授与
- 2012年11月6日 EU、アフリカ研究プロジェクトへの合同資金助成に合意。1100万ユーロもの予算規模
- 2012年11月6日 欧州司法裁判所、ハンガリーの司法当局者の強制早期退職措置をEU法違反と判定
- 2012年11月6-7日 ギリシャで反緊縮のための48時間ストライキ決行。サマラス政権下で3度目のゼネスト
- 2012年11月7日 バロゾ委員長・ファン＝ロンパイ常任議長、前日の米大統領再選のオバマ大統領に祝意声明
- 2012年11月7日 英独首脳会談、ロンドンで開催。EU予算の実質増額に対し英は強く反対、拒否権にも言及
- 2012年11月7日 EU秋季短期経済見通し発表。景気回復遅れで下方修正。2013年ゼロ成長・14年景気加速と予測
- 2012年11月7日 欧州委員会、EU渡航促進・経済成長のためのEUの共通ビザ政策を検討する政策文書採択
- 2012年11月7日 欧州委員会、フロン類排出の大幅削減規則を提案。2030年までに現在の1/3の水準を目標
- 2012年11月8日 ギリシャ議会、緊縮関連法案可決(賛成153・反対128)。135億ユーロもの歳出削減・増税など
- 2012年11月8日 ECB理事会開催。ギリシャ議会の緊縮関連法案可決を評価、経済動向・銀行監督などを協議
- 2012年11月8日 ECB、新ユーロ紙幣"Europa"シリーズを発表。来年5月以降発行。偽造防止技術やデザイン一新
- 2012年11月8日 欧州委員会・ECB・IMFトロイカ調査団、キプロス再訪。財政調整と支援協議開始

- 2012年11月8日 EU、ハリケーン「サンディ」で被災を受けたカリブ海諸国に600万ユーロの緊急支援を提供
- 2012年11月8日 欧州委員会、「CARS2020」行動計画を発表。環境技術・低燃費・電気自動車開発・合理化支援
- 2012年11月8日 欧州委員会、中国産ソーラーパネル及び関連主要部品の輸入に関する反補助金調査を開始
- 2012年11月8日 ユーロコブ社世論調査、英国国民の49%がEU脱退・28%が残留を希望と発表
- 2012年11月9日 100名以上の欧州各界著名人、エラスムス・プログラムへの支持を求める公開書簡に署名
- 2012年11月11日 ギリシャ議会、緊縮措置を含む2013年度予算案を可決(賛成167・反対128)。追加支援条件整う
- 2012年11月12日 アシュトン EU 上級代表、ガザ・イスラエル間の武力紛争に対して声明を発表
- 2012年11月12日 アシュトン EU 上級代表ら、10月28日ウクライナ議会選挙の不正・非透明運営に非難声明
- 2012年11月12日 ユーログループ財務相会合、ギリシャ緊縮予算可決を評価。同国赤字削減目標2年延長で合意
- 2012年11月12日 EU、航空分野のCO2削減取組みのため、排出量取引制度の航空分野適用を一時凍結を勧告
- 2012年11月12日 欧州委員会、大西洋マグロ類保護の国際会議で、クロマグロ・メカジキ・サメ保護を主張
- 2012年11月13日 アシュトン EU 上級代表、シリア反体制派による統一組織「シリア国民連合」結成に歓迎を表明
- 2012年11月13日 EU、ノーベル平和賞授賞式参加のための青少年絵画・作文コンテスト開始を発表。4名招待
- 2012年11月14日 EU・エジプト タスクフォース、エジプト民主化の包括的な経済・政治支援策に関して協議
- 2012年11月14日 欧州委員会、ノーベル平和賞賞金を世界中の戦争や紛争に遭った子供への支援に使うと表明
- 2012年11月14日 欧州委員会、自動車の先進緊急ブレーキシステムと車線逸脱警報システムの国際規制合意
- 2012年11月14日 欧州委員会、14もの域内外での農産品販促プログラムを承認。2715万ユーロを拠出
- 2012年11月14日 欧州委員会、上場企業の社外取締役の男女比目標を60:40に引上げ(現行比率・85:15)
- 2012年11月14日 EU、犯罪被害者の最低限の権利改善のための新たなEU法公布
- 2012年11月14日 欧州委員会、EUの排出量取引制度における需給不均衡改善案を提出
- 2012年11月14日 「欧州のGreen Material 産業クラスターの最新トレンドと日欧の産業クラスター協力の可能性」
- 2012年11月15日 Eurostat、2012年第3四半期GDPはユーロ圏17カ国で前期比0.1%減・EU27カ国で同0.1%増
- 2012年11月15日 バローゾ委員長、研究と革新への投資を求めるノーベル賞受賞者44名・13万人市民の嘆願受領
- 2012年11月15日 欧州委員会、違法漁業対策が不十分な8つの域外国(ギニア・パナマ・カンボジアなど)に警告
- 2012年11月15日 欧州委員会、域内エネルギー市場に関するEU規則の国内法への運用に向けた政策文書を発表

### 【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、羽場久美子教授にお願いしました。羽場教授は、ハンガリーを中心とした中東欧の地域研究から、欧州統合、今回寄稿頂いたようなアジアへの示唆へ、研究テーマを発展させておられます。

EUSIでは、一橋大学国際公共政策大学院の「EU論」講師を務めて頂いており、今年度、米国滞在の予定を繰り上げて行われた講義には、多くの大学院生が集まりました。

EUSIメールマガジンでは、今後も多彩な専門家の方々に寄稿をお願いする予定ですので、ご期待ください。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSIメールマガジン編集担当)

先日、「規範的パワーとしての欧州」(Normative Power Europe)というEU像を提唱したイアン・マナーズ教授が来日され、日本EU学会年次大会での基調講演のみならずEUSIでも特別講演会としてご講演を頂きました。

マナーズ教授がEU規範的パワー論を提唱した2002年から10年が経ち、今改めて規範的パワー論をどう発展させてゆくかという問題についていろいろな示唆を頂きました。マナーズ教授は、持続的平和・自由・民主主義・人権・法の支配・平等・社会的団結・持続的発展・良いガバナンス、という9つの領域におけるこれまでの事例に即して説明され、グローバルな文脈や制度上の問題などからどのように学びとることが出来るか？という点について極めて明解な議論を示して下さいました。

この講演会は、EUSI傘下の慶應義塾大学・津田塾大学のみならず、韓国・延世大学と中国・復旦大学とも中継で結び、アジアのEU研究拠点との知の連携の一環として行われ、大変熱心な議論を頂きました。マナーズ教授や韓国・中国のEU研究者や学生の皆様には改めて感謝を申し上げます。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp

---